



しずくいしちょうしゃかいふくしきょうぎかい
栗石町社会福祉協議会

編集と発行／栗石町千刈田82-2 栗石町総合福祉センター内
TEL：692-2230 FAX：691-1140
e-mail：shizuku-shakyo@shi-sha.jp
http://www.shi-sha.jp
ホームページからもご覧になれます。

社協だより

2010
NOV

63号

基本目標：

「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」

秋、みつけた



もくじ

- ◆いわて“おげんき”みまもりシステム……………2～3P
- ◆平成22年度地域福祉懇談会……………4～5P
- ◆西山保育園だよりvol.1 ……………6～7P
- ◆第63回岩手県社会福祉大会……………8P
- ◆平成22年度赤い羽根共同募金実績報告……………9P
- ◆社協トピックス……………10～11P
- ◆お知らせ……………12P

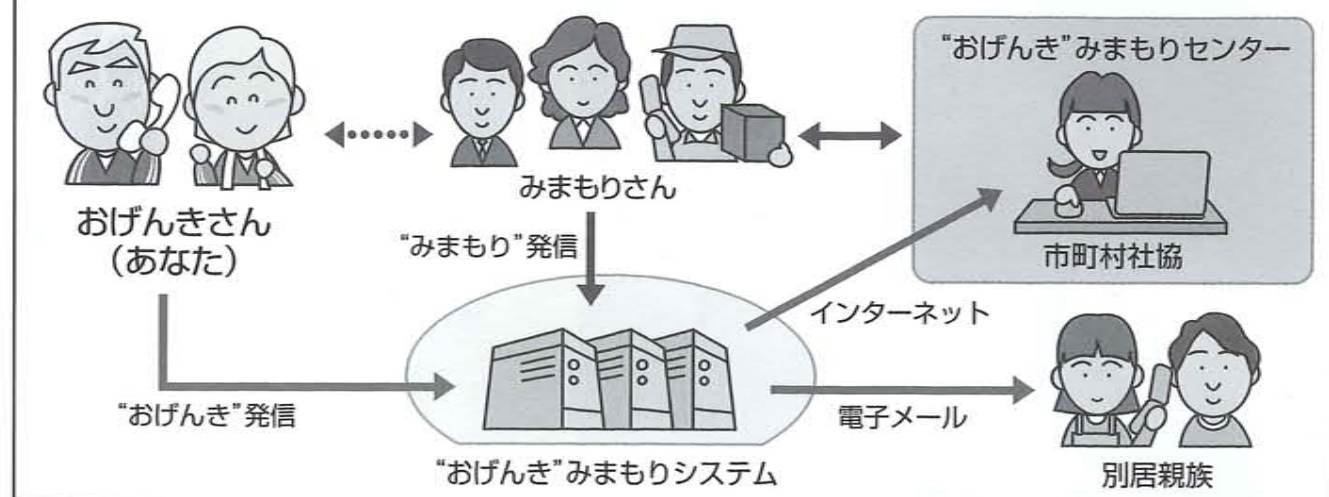
表紙写真：秋の自然に触れながら元気いっぱい遊ぶ子供たち。

秋空の下を飛ぶトンボを捕まえニッコリ！
いい笑顔です。



この社協だよりは、皆様から寄せられた赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

『“おげんき”みまもりシステム概略図』



～ 10月から利用されているお二人にお話を伺いました ～

村田ヨネさん（大村行政区）は、取材に行った日も朝早くからお墓参りに行ってきたとのこと。「今日は少し電話かけるのが遅くなった。」と村田さん。見守りシステムを利用されてどうですか？とお尋ねすると「毎日の仕事が増えて頑張らないと!!と思うし、毎日の日課になりつつあるよ。」と笑顔でおっしゃって下さいました。また、「この間、電話するのを忘れていたら、娘からすぐに電話がきて「今日、発信していなかったけど大丈夫？」って連絡がきたんだ。」とのこと。遠くにいらつしやるご家族にも村田さんのその日の状態がメールで届くので、見守られている安心感があるようです。



「操作方法も簡単!」という村田さん



見守られている安心感を語る高橋さん

高橋ソノさん（上町1・2行政区）は、苦楽を共にしたご主人が他界され一人暮らしになってから2年が経過したそうです。高橋さんの趣味は、玄關の素敵な一輪挿しからもわかるようにお花いじりと掃除。「毎日、お父さんの仏壇にお供えをしてからみまもりセンターに電話をしています。」とのこと。また、みまもりシステムについては、「二日一回電話をかけて、自分の健康状態をお知らせするだけでいいので簡単です。たまに、お客さんがきて時間にかかれないうちは「社協から元気ですか?」と電話が来るのも嬉しいです。近所の兄弟とこのシステムが見守ってくれているので今後も自宅で安心した生活を送りたいと思っています。」とお話して下さいました。

一日一回、電話でげんきを発信しませんか!!

～ いわて“おげんき”みまもりシステム開始しました!! ～

社会的な支援をのぞまない「孤立」した中高年の方が突然死し、長期間発見されないというニュースを耳にします。残念ながら、雫石町でも実際におきているのが現状です。医療や環境の変化により、私たちは昔より長生きができるようになりました。その反面、高齢者の中には「一人（地域）のお世話になりたくない」という遠慮感から支援を求めない方も中には、いらっしゃると思います。「いわて“おげんき”みまもり



システム」は、地域に暮らす一人暮らし高齢者の皆さんが、安心して自立した生活を続けることができるように開発されたシステムです。ご自宅で、使用している電話機で「おげんきみまもりシステム」へ一日一回電話をし、自動音声に従って、「元気」、「少し元気」、「具合が悪い」、「話したい」のいずれかを電話機の番号で自分の状況を知らせるものです。発信された情報は、「おげんきみまもりセンター」となる雫石町社会福祉協議会（以下、町社協）が365日毎日確認をします。利用者が「具合が悪い」、「話したい」の発信をした場合や毎日の発信をされていない場合は、状況に応じて町社協職員が電話をかけ様子を伺ったり、地域の見守り協力者に直接確認をお願いします。高齢者ご自身が「げんきであること」をお知らせいただくことにより、社会的なつながりをもって頂き地域で安心して暮らせるようサポートします。

★利用できる方

雫石町内にお住まいの一人暮らし高齢者

＊毎日電話で健康状態を発信できる方

★利用料（自己負担）

一日の通話料金10円です。（月額300円程度になります）

＊システム利用料は無料です。

★その他

・ご家庭で使用している電話機を利用します。新しい機器の取り付けは必要ありません。

・離れて暮らす家族へご自分の毎日の発信結果をメールで自動送信することができます。

（希望される場合）

★申し込み・問い合わせ先

雫石町社会福祉協議会までご連絡下さい。



地域福祉懇談会開催

八月二十三日から九月一日の期間、小学校区を単位に「平成二十二年地域福祉懇談会」を開催し、二百七十八名の地域の皆様にご参加いただきました。ご意見・ご要望が多かったものを集約いたしましたのでご紹介いたします。

4.その他

Q1. 今回の資料に「自死・自殺」の問題がでていない。4年前、雫石町が自殺率日本一になり、今年も上半期で私が知るところでもすでに多くの方が自死されている。365日休みなしの命の電話のようなとまで言わないが、対策を考えて頂きたい。

A1. 町内では、ボランティアの方々が声をかけ、相談を促すメッセージ入りのティッシュやシールを作成し配布しております。しかしながら、具体的にどのような活動をすれば効果があるかなれば難しさも感じております。

Q2. 社協の資料を見ると高齢者・子どものサービスはあるが、障がい者へのサービスは何をやっているか？

A2. おでかけ援助サービス事業を行っております。また、車椅子の貸出も行っております。

Q3. 保健福祉計画については、いかにしてネットワークを作り広げるかが今後の課題と思うが、それについてはどのように行なうのか？

A3. 今回のような懇談会などで広めていきたいと思っております。また、行政と社協が協議をしながらより良い方向にしていきたいと考えております。

Q4. 高齢化社会という状況からみて、十年後の年齢構成等を含めてシミュレーションなどをして、それに対しての取り組みを提案するなどということがあってもよいのではないかと？

A4. 確かに今後5年間・10年間といった周期的なシミュレーションといったものは必要になってくると思われます。それに対してどのような福祉サービスが必要になってくるかを考えなければならないと思います。

Q5. 全国で孤独死の報道があるが、雫石町ではどのような把握の仕方をしているか？また、100歳以上の方は何名いるか？

A5. 基本的には住民課の台帳で確認しております。100歳以上の方は7名おります。雫石町では、本人に安否確認を行っております。

Q6. 報道でプライバシーの問題があり、なかなか安否確認ができないという話があったが、生命に関わるものであれば必要なことではないかと？

A6. どこまで踏み込んで行けるかとなると、家族等に「大丈夫です。」と言われると中に入って「直接会わせて下さい。」と言うことは、現実問題として難しいと思っております。行政区によっては、話し合いを持ちながら情報を共有しあっていたいただいているところもあります。

1.サロンについて

Q1. 今まで見守り活動を中心に行っていたが、現状のまま見守り活動だけでよいという声もあるが公民館も新しくなったので少人数でも暖かい雰囲気が集まれるようにしてはどうか？

A1. 押し付けにならない事業が大切だと思いますが、少人数でも集まれる機会があるのであれば、社協職員がサロンに出向いてご相談にのります。

Q2. 老人クラブとふれあいサロンの線引きというものはあるのか？

A2. 老人クラブは社会奉仕活動を主にする団体です。サロンは高齢化とともに徐々に社会活動が難しい方々が公民館などに集まり、新たな仲間づくりをしていただく活動場所になります。また、お年寄りや一人暮らしの方々へ限定したものでなく、誰が参加しても良い場所です。

2.福祉サービスについて

Q1. 見守りシステムを開始するにあたって、緊急通報システムはどうしていくのか？

A1. 見守りシステムは毎日の状態を確認するものであり、緊急通報システムは体調の急変などで緊急時に使用するものなので、これまでどおり継続していきます。

Q2. 昼食サービスは、申し出れば利用できるのか？

A2. 概ね60歳以上の一人世帯や夫婦世帯の方、また家族がいても日中独居になられる方を対象にしております。昼食サービスは土日祝日を除いた平日に事業を展開しています。

Q3. 移送サービスは予約制か？また通院だけでなく買い物等でも利用することは可能か？

A3. 登録制・予約制となっているので、いきなりの利用はできません。移送サービスは通院のみならず買い物にも利用できます。

3.めぐりあい事業について

Q1. 登録制か？また、年齢制限はあるのか？

A1. 登録制ではありません。ホームページや広報(チラシ)で募集しております。男性については、雫石町にお住まいの方を優先的に受付しております。年齢制限は、男女共20歳以上(学生不可)としております。上限は設けておりません。

Q2. めぐりあい事業で結婚した方はいるのか？

A2. 現在までに、事務局に結婚の報告があったのは6組です。3年前カップルになった方々からは「おかげ様で、子どもが産まれました。」という報告をいただきました。

うさぎぐみ



～一人で食べれるよ～

「いただきます」のごあいさつで手づかみやスプーンを使ってみんなおいしそうに食べる、うさぎぐみです。



モグモグ おいしいね。



上手にすくえるかな？

トピックス



きりんぐみ



～ハッピーハロウィン～

かぼちゃおばけやミッキーのお面を被り、マントでかわいく変身。おかしちょうだい、ってもらったマシュマロに笑顔がこぼれるきりんぐみでした。



「おかしもらったね」「うれしいね」



かぼちゃのおばけに変身!!

ぞうぐみ



～スライム作りに初挑戦～

初めてのスライム作り。洗濯のりとホウ砂を混ぜ、実際に出来たスライムを手にとると、ペタペタ、ペロ～ンと大興奮のぞうぐみでした。



ペロ～ン



スライムが上手に作れますように

● 保育園伝言板 ●

12月

5日(日)

午前9時～

歳末助け合いチャリティー

18日(土)

午前9時30分～

サンサン発表会

1月

12日(水)

★みずき団子作り

14日(金)

午後6時15分～

親子ふれあいレクリエーション

2月

17日(月)

★KOKAGE英会話教室

3日(木)

★KOKAGE英会話教室

15日(火)

★KOKAGE英会話教室

3月

1日(火)

★KOKAGE英会話教室

15日(火)

★KOKAGE英会話教室

★印は午前10時～

※都合により、変更になることもあります。予めご了承ください。

伝言板の行事は、地域の皆様、また保育園に入園していない親子の方も参加出来ますので、ご都合のつく方は、一緒に参加して楽しみたいと思います。



笑顔いっぱい かわいさいっぱい 西山つ子

西山保育園だより vol.1

西山保育園に変わり、8か月が過ぎました。今号より、西山保育園の様子を社協だよりでお伝えします。

子どもたちも園生活のリズムに慣れ、随分活発になってきました。外で遊ぶのが大好きな子どもたちは、園庭では三輪車・虫探し・砂遊びを、室内ではお絵かき・ブロック遊び・ままごとなど、いろいろな遊びを楽しんで過ごしています。

保護者や地域の皆様に支えられ、これからもたくさんの保育活動を行っていきます。子どもたちが、元気に活動した行事の一部をご紹介します。

お茶会・法話

9月29日(水)に、保育園ホールにて法話・お茶会を行いました。当法人、目時会長より座禅の作法を学び、法話では「命の大切さ」「自然への感謝のきもち」を持つことを教えていただきました。

お茶会ではお茶菓子と抹茶を頂き、子どもたちの感想は「おいしい」「苦い」と様々でした。

終わった後に「またやりたい」と話す声も聞こえ貴重な体験が出来てみんな喜んでいました。



楽しいね



おいしい



目時会長の法話



お茶会はこう回すんだ!



僕たちののしりみだい!!



カメさん、おいしい?

わくわく出前授業

9月14日(火)に、男鹿水族館より「わくわく出前授業」が来園しました。この日は、町内の保育園児も集まり、合同で行われ、園庭の各コーナーに分かれそれぞれ楽しみました。触れ合いコーナーでは、カブトガニ・ヒトデ・ヤドカリを意欲的に触る子が多く見られ、陸ガメの「カメちゃん」に一人ひとりがエサやり体験ができ、楽しく心に残る一日となりました。



特大ペンギンさんと一緒に



赤い羽根共同募金運動

～じぶんの町を良くするしくみ。～

平成22年11月1日現在

総額 **2,478,916円**

平成22年度赤い羽根共同募金 法人等募金実績

栗石町役場職員一同 様	41,532円
高橋医院 様	20,000円
岩井建設(株) 様	10,000円
岩手大崎電気(株) 様	10,000円
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	10,000円
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000円
鶯宿温泉開発(株) 様	5,000円
鶯宿温泉観光協会 様	5,000円
小岩井乳業(株)小岩井工場 様	5,000円
(株)しずくいし 様	5,000円
栗石プリンスホテル 様	5,000円
新岩手農業協同組合栗石中央支所 様	5,000円
仙建工業(株) 様	5,000円
(株)中村建設 様	5,000円
南部富士見ハイツ 様	5,000円
松ぼっくり 様	5,000円
長栄館 様	3,000円
ホテル加賀助 様	3,000円
銀河交通(株) 様	2,034円
栗石タクシー(有) 様	2,000円
法人等募金額 計	161,566円

十月一日より『地域の福祉、みんなで参加』をスローガンに赤い羽根共同募金運動を全国一斉に活動展開しております。

今年度も各行政区長さんを通じて、町民の皆様方よりご協力頂きました。また、町内企業等の皆様方からも、深いご理解を賜り法人等の募金額は昨年度実績を上回る募金を頂戴しました。

お寄せいただきました赤い羽根共同募金は、全額栗石町共同募金会へ送られ、住み良い町づくりに役立つように、来年度地域の社会福祉施設や社会福祉団体、ボランティア団体等へ助成されます。

なお、来月からは地域歳末助け合い運動が始まります。皆様の更なるご理解とご協力をお願い致します。



行政区実績一覧

(単位：円)

栗石地区		御所地区		西山地区		御明神地区	
行政区名	金額	行政区名	金額	行政区名	金額	行政区名	金額
高前田1区	30,000	鶯宿	48,800	網張	10,000	橋場	12,500
高前田2区	40,500	馬場・大村・男助	46,500	盆花	5,000	安栖	14,500
林	101,000	赤滝	26,500	極楽野	28,700	小赤沢	7,500
上町1・2	90,000	外樹沢	10,500	五区	37,600	山津田	17,500
上町3	63,000	榊沢	38,500	六区	17,000	滝沢	14,000
中町1	50,000	矢用	20,000	七区	21,500	南	17,000
中町2・3	27,500	片子沢	47,000	八区	37,500	天瀬	18,500
下町1・2	27,000	天戸	50,000	野中	32,000	天川	15,500
下町3	35,000	安庭	47,500	小松	41,800	中島	16,500
下町4	37,000	籬野	23,300	林崎	79,000	中南	30,000
駅前	45,000	町場	10,000	篠崎	26,000	黒沢	16,000
長根	27,000	九十九沢	9,500	上西根	20,000	まがき	18,500
谷地	35,500	矢櫃	10,500	八丁野	25,000	下春木場	17,000
晴山	106,600	元御所	20,000	西根谷地	14,500	上春木場	29,500
中沼	32,500			上駒木野	12,000	和野	24,500
陽和郷	9,500			駒木野	30,000	横欠	20,000
板橋	38,000			葛根田	20,000	土橋	11,500
七ツ森・丸谷地	119,350					上和野	16,000
小岩井	13,500					上野沢	11,000
東町	98,400					岩持	9,500
黒沢川	62,800					谷地	12,500
						下川原	12,500
小計	1,089,150	小計	408,600	小計	457,600	小計	362,000

行政区募金額 **2,317,350円**

第63回岩手県社会福祉大会

～共に生きる地域社会の実現を目指して～

十一月十一日、岩手県民会館大ホールで、第六十三回岩手県社会福祉大会が開催されました。

当町からは「岩手県知事感謝状」一名、「岩手県社会福祉大会会長表彰」二名、「岩手県社会福祉大会会長褒賞」三名の方々が受賞されました。

式典終了後、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本人初の優勝をされた全盲ピアノスト辻井伸行氏の母、辻井いつ子氏より「明るく、楽しく、そして諦めない生き方」と題して記念講演が行なわれました。

講演後、受賞者並びに社会福祉関係者が「県民誰もが自分らしく安心して生活することができ、豊かな福祉社会」の実現を目指すことを誓い合い閉会しました。



受賞おめでとつございます！

■岩手県知事感謝状 (1名)

・松原 信氏 (五区)



松原氏は、十五年の長きにわたり自宅で家族の介護にあたり、明るい家庭の維持増進に努められた功績が岩手県知事より認められ感謝状が贈呈されました。

なお、岩手県知事感謝状は県内で十八名の方が受賞されました。

■岩手県社会福祉大会会長表彰 《ボランティア活動功労者》 (2名)

・藤原恒子氏 (六区)



平成十一年から栗石町ボランティア会会長並びに栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター相談員として、町内のふれあいサロンの設置に努めるとともにボランティアの普及・拡大に努めた功績。

・川村 貢氏 (黒沢川)



平成十年から栗石町社会福祉協議会事務局長として町の福祉の向上に努めた。在任期間中にスノーバスターズに自ら加入し、現在はスノーバスターズの会長として高齢者世帯の生活を守っている傍らシルバー人材センターの理事長として活躍している功績。

■岩手県社会福祉大会会長褒賞 《在宅介護者》 (3名)

・小田慶子氏 (小松)



14年もの長きにわたり、在宅で献身的に義母と夫の介護に携わった功績。

・谷地ムツ子氏 (下春木場)



15年もの長きにわたり、在宅で献身的に義母の介護に携わった功績。

・山崎テル氏 (小松)



11年もの長きにわたり、在宅で献身的に義父と義母の介護に携わった功績。

認知症についてもっと知ろう!!

～各サロンで開催中です!!～

現在、認知症患者は全国で169万人いるといわれ、20年で倍増することが予想されています。そこで、「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンに伴い、町内の希望されるふれあいサロンを中心に認知症サポーター養成講座が開催されています。認知症は、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことが可能です。正しい知識と地域で支え合うためにも、皆さんも学習してみませんか?

問合せ…町総合福祉センター内
町ボランティア活動センター



認知症サポーターの証“オレンジリング”

『それっっ!!』『入れっっ!!』

～町老連対抗「輪投げ大会」開催～

十月二十六日(火)栗石町営体育館を会場に総勢46チーム255名の選手が日頃の練習で鍛えた腕前を披露されました。激戦を勝ち抜かれたのは次のチームと個人の皆さんです。

■団体の部
優勝 松寿荘老人クラブ
準優勝 舩沢高砂会
三位 板橋結友会

■個人の部
優勝 遠藤久市氏(松寿荘老人クラブ)
準優勝 袖林 勲氏(駒大野村チーム)
三位 杉下憲助氏(小松会A)



真ん中へ狙いをさだめて「えいっ!!」

社協トピックス



誰もが願う「いつまでも健康であり続けたい!!」
明日からさっそく役立つ介護教室開催しました!!

家族や自分がいつまでも健康であり続けたいという気持ちの裏側に介護が必要になったらどうしようという不安があるのは皆さん一緒のよう

です。そこで、健康や介護に関する知識を深めることで、健康な生活を長く続け、実際に介護に携わった時の介護者の負担軽減を目的に十月十四日から三回コースで介護教室が開催され延べ九十名の方が参加されました。

また、指一本で体を簡単に動かす技術を学んだ参加者からは「わあ、本当に指一本で動くんたあ。」など歓声が起こりました。最終日には、三回コース全て受講された二十四名に修了証書が手渡され、介護の大切さを改めて実感した教室となりました。



シーツ交換の手ほどきを勉強中



真剣に受講される参加者のみなさん

今年も温かい気持ちをお届け!!

一人暮らし老人昼食会&
男の料理教室コラボ

十一月十八日(木)一人暮らし高齢者を対象とした「鶴の会」が開催されました。今年もまた、男の料理教室受講者の方々が精魂込めた「男の手づくり弁当」が参加された37名の方々に届けられました。

中には、この「男の手づくり弁当」と若い男性(?)との交流を毎回楽しみにされている方もいらっしゃるそう、男の料理教室受講者の方々も更に腕前をあげると思われれます。



身障協通信

栗石町身体障害者福祉協会

身障協の総会の場で、行政より「障害者自立支援サービスの見直しに伴う新制度までの間、町民非課税世帯の福祉サービス及び、補そう具にかかる利用者負担が4月から無料になりました。」という話がありました。

現在、身障協では賛助会員の募集をしております。

賛助会員とは、身体障害者手帳所持者以外で、会員を補助し、親睦を図りながら事業とともに遂行

して下さる方です。先日、身障協では山形県へ1泊2日の研修旅行を行いました。賛助会員になられた方も参加することが出来ます。賛助会員の条件は、年会費1,000円を納め、身障協の活動でも結構です。皆さまのご理解とご参加お待ちしております。

照会先…町身障協事務局(櫻小路)
電話 692-4626



手をつなごう
がし和の聖通信

町福祉演芸大会に出演

十一月五日(金)中央公民館で開催された「栗石町福祉演芸大会」にハンドベル演奏で出演しました。

今回は、作業や研修等が重なり全員で練習する期間が大変短く、本番ではどうなることやらと通所生も指導員も不安と緊張の面持ちでしたが、日頃から地域の皆さんに支えられ堂々と活動している通所生は、いつの間にか身につけていた「度胸」の良さで、観客の皆さんから大きな拍手を頂きました。

